

○日々の授業づくりにおける基礎・基本（不易なるものとして）

H18.3 県教委発行「分かる算数・身に付く数学」を活用して学年会（小）、教科会（中）の充実を図る ～会員及び小中学校の先生方へ～

顧問 高嶋 義人（赤穂小学校長）

今回の新学習指導要領では、「複雑で予測が困難な時代の中でも、児童生徒一人一人が社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、自ら可能性を発揮し多様な他者と協働しながら、よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、未来の作り手となることができるようにするために必要な力の育成」が期待されています。

「受け身で対応するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、自らの可能性と発揮し多様な他者と協働する」ことは、児童生徒だけではなく、教師自身にも言えることではないでしょうか。算数数学の日々の授業について、学年会や教科会などで仲間と考え合い、共に授業をつくったり、教材をつくったりしていくことは、多忙感以上の充実感を味わうことができます。研究する機会を設けることによって、「この問題を提示したら児童生徒はどんな反応を示すかな」「この部分は多様な考えを比較・検討させたい」「次の時間は少し展開を変えてみよう」などという気持ちになり、教室に行くのが一層楽しくなります。この充実感は、授業改善や授業研究等の意欲につながり、日々の授業づくりや授業改善の原動力となります。これはまさに「主体的・対話的で深い学び」を教師自身が実践・体験していくことになるといってもいいと思います。目的意識をもち、仲間とともに課題（授業づくりにかかわる）の解決策を話し合い、具体的に実践を通してその解決策を検証していく力は、新学習指導要領で子どもたちに身につけさせたい力そのものといえます。

日々の授業づくりで大切なことは、「どのようにして自分の授業スタイルをつくるのか」「どのようにして工夫・改善を行うのか」です。「授業スタイル」は、「指導過程の在り方」「学習活動の在り方」「教師の働きかけ」等、自分が行うどの授業でも共通している指導方法であると考えます。

自分の授業スタイルをつくるためには、

① 「観て・見て学ぶ」（授業参観・実践事例集）

公開授業を多く参観し、学習過程や教師の働きかけ等を学ぶことが大切であります。また、児童生徒主体の学びにするために、多くの先輩方が授業改善に取り組んでこられました。その成果は、長野県算数数学教育研究会や長野県教育委員会の会報・会誌に、数多く蓄積されています。今回紹介しました平成18年3月の県教委発行「分かる算数・身に付く数学」の実践事例を学年会や教科会などの資料として活用し、自分で実践してみてもはどうでしょうか。

② 「やって学ぶ」（体験）

素晴らしいと感じた授業や実践事例をもとに学年会や教科会で研究したり、自分の学級や学校で実施し、再現したりすることが大切であります。「学習問題の提示の仕方」「学習課題の設定の仕方」「学習活動の在り方」「課題意識の持たせ方」「発問の仕方」等、授業スタイルをいろいろな視点から自分のスタイルと比較することになりますが、自分の授業改善に生かすためには、その授業や実践事例のねらいや意図を十分理解しておく必要があります。

※ 県教委発行「分かる算数・身に付く数学 教師のための基礎・基本」の活用について

学力向上に向けた新シリーズ「分かる算数・身に付く数学 教師のための基礎・基本」は、平成18年に長野県教育委員会が発行したものです。算数・数学を指導していく上での根幹に関わる内容です。

小学校の先生方は、毎日算数の授業があります。「子どもたちに算数を分かりやすく・身に付くように指導するにはどうしたらいいのだろう」と悩まれている先生が多いのではないのでしょうか。

実践事例を書かれた先生方は、算数・数学の指導に長年携わってこられた方々です。この実践事例を読むことによって先生方の悩みや困り感を少しでも解消できるのではないのでしょうか。

また、全ての実践事例を読むのは大変だと思われる先生方、P150「あとがきにかえて」にもありますが、P150、151を見ると、各事例が（1）目標と指導と評価について（2）課題把握について（3）分かる喜び・問題解決力を高める（4）個に応じた指導について（5）教材研究等についてと指導方法等に関する内容別に分類されています。P152には（1）～（5）の内容が、小学校1年生～中学校3年生の学年別になった一覧表があります。自分が担当している学年について一目で分かるようになっていますので、自分が興味を持った内容、所属している学年等をピックアップして、個人や学年会・教科会で活用してほしいと思います。

※ P123の「算数・数学でこんな教材研究をしてみませんか？」には、効果的な教材研究の仕方について書かれています。若い先生方、参考になります。

※ 各事例の最後のまとめの部分を読むだけでも大変参考になります。